



ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

To Rotary club presidents and secretaries

Vol.8

ROTARY

2018

02

平和と紛争予防・紛争解決月間



**ロータリー：
変化をもたらす**

田中ガバナー事務所
群馬県前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館1F
TEL 027-212-2840
FAX 027-212-2841

目次

ガバナーメッセージ「平和と紛争予防・紛争解決月間」	01
2018学年度 米山記念奨学生選考会	03
「ロータリー創立記念日」を迎えるに当たって	04
源流の会アーカイブより“PAUL HARRIS” by CHES. PERRY	04
地区会員数 月別推移	09
2017-2018年度上半期分區別会員数報告	11
2017-2018年度下期会員増強・維持に関する アンケート集計結果	12
ぐんま経済新聞	14
年間行事予定表	17
新会員紹介	20
訃報	21
文庫通信	22
出席報告	23
コラム	24
ガバナー事務所よりお願い	25



ガバナーメッセージ

国際ロータリー 第2840地区
2017-2018年度 ガバナー
田中 久夫

特別月間テーマ：平和と紛争予防・紛争解決月間

1905年（明治38）年2月23日、いまから113年前のこと、アメリカ・シカゴにおいて初のロータリークラブ、シカゴ・ロータリークラブが誕生しました。そのときのメンバーは、ポール・ハリスを含め僅かに4人に過ぎませんでした。いまや、ロータリーは世界200以上の国と地域に広がり、約3万5千のクラブ、約122万人の会員を擁する巨大な組織に成長しました。

想像するに、その間いろいろな紆余曲折があり、組織の隆盛や退潮の経緯があったはずですが、都度その危機を乗り越え維持発展を繰り返してきたロータリーの歴史には、われわれ経営者が学ぶべき組織維持・発展、すなわち経営にとってのヒントや要点があるはずですが。

日頃、私が大学で経営学（主に経営を数値（金額）からアプローチする会計学ですが・・・）を講義する際に学生に最低でも覚えておいて欲しいとする企業経営哲学の第一は、「保守主義（安全・安心）思考の重視」ということです。つまりは、企業は永続的に存続することに第一義があり、決して社運を賭けての冒険をしてはならない、存続にとって危険を冒してはならない、ということに尽きると思います¹。そのためには、景気動向を過度に信用・期待しない、無理な設備投資はしない、過度の借入金は起こさない、限界利益を高め軽減努力をした固定経費を迅速に回収する、保有不動産の時価評価（含み益）を期待せずその資産活用益を工夫・創出する、不要不急の資産は持たない、などの古くから言い伝えられてきた保守的思考の原理原則を大切にすることに他なりません。

ロータリーの歴史にもきつと幾度かの転機があり、それを上手に活用したり、乗り越えてきたから現在の繁栄があるに違いありません。それらは「ロータリー年表」を紐解いて概観してみれば判るかも知れませんが、私が考えるロータリーの発展の礎は、ハーバート・テラー²による「四つのテスト」の創案（1932年）とそのRIへの採用（1943年）の2点だと思えます。

¹ 会計学の学問体系はすべてその1点（保守主義思考の重視）を基に組み立てられてきました。時代を経てもその基礎は不変と思われれます。例えば、複式簿記の原理はたった一つ「貸借一致の原則」があるだけでその原理が創設されてから500年もの間、いまの時代においてもこれを超える経理システムは発明されていません。結局のところ、その原理がシンプルであるがゆえに変化を必要としない、というところが重用されている理由なのだと思います。

² 1954-1955年度RI会長 シカゴRC会員 1954年RI会長就任時に「四つのテスト」の著作権をRIに寄贈しています。



ガバナーメッセージ

ご承知の通り、ハーバート・テラーは不況にあえいで倒産の危機に瀕していた会社の社長に就任し、その立て直しのために社員に対し敢えて倫理的な道を指示し、正しい営業活動を実践することを求めました。その際、全社員に配ったたった24語の文章が「四つのテスト」でした。四つのテストは、その単純さゆえに誰にも理解できて実践できる効果的な教えになったのでしょうか。その後、その会社は見事に蘇り、テラーは、この四つのテストが単に職業上の理想を説いたものだけでなく、極めて実用的なものであったことを実証したのです。クラブにおいて、四つのテストを唱和する機会があります。そのシンプルな教えの奥底に想念を巡らし、味わいながら唱和したいと思います。

さて、本題です。2月の特別月間テーマは「平和と紛争予防／紛争解決月間」です。RIは、紛争予防と仲裁に関する若者（将来にリーダーとなることが望まれる人）を対象とした研修の実施、紛争地域における平和構築の支援、平和と紛争予防／紛争解決に関連した仕事に従事することを旨とする専門職業人のための奨学金支援を強調する月間としています。思い起こすのは、生方 彰パストガバナーがガバナーを務めた年度（2015-2016年度）の地区大会（沼田市・2015年10月）において拝聴した基調講演・瀬谷ルミ子さんの話があります。若き女性でありながら、世界各地における紛争地域に赴き紛争解決・仲裁に携わる実話に感銘を受けました。ロータリーはこのテーマに対し実際にどのような支援をしているのかについては、この月信の最後のページの「田中ガバナーの蘊蓄 その8」をご笑覧ください。

最後にもう一つ。ロータリー創立記念日2月23日は、私（田中）の誕生日でもあります。加えて2020年には新・天皇誕生日にも成ります。皆さんでお祝いをしましょう。



2018学年度 米山記念奨学生選考会



開催日 : 2018年01月14日 (日)
場 所 : 前橋問屋センター会館
報告者 : 地区副幹事 神宮 嘉一 (高崎RC)

ひんやりとした冬晴れの日曜日、緊張した面持ちで留学生たちが会場に続々と到着する。米山奨学生を目指す30名が選考会に挑戦だ。日本で学ぶことになったきっかけ、将来の展望や夢を、彼らは慣れない日本語で一生懸命に伝えようとする。面接官もその熱い思いを受け止め、真剣なまなざしで向き合う。春からは日本と国際社会の懸け橋となり活躍してくれるであろう17名の新しい米山奨学生の誕生だ。きっとフレッシュな息吹を私たちにもたらしてくれるだろう。



「ロータリー創立記念日」を迎えるに当たって

2017-2020RI審議会代表議員
PDG 曾我 隆一(前橋)

2018-2019バリー・ラシンRI会長年度の国際協議会が終わり、会長テーマ

“Be the Inspiration” が発表されました。(インスピレーションになろう)

2680地区の田中 毅PDGが主宰されていますロータリー源流の会のHP資料に、ロータリー創設者ポール・ハリスの真に右腕となり、RIの事務総長として32年間という偉大な年月をロータリーに注いで頂いたチェス・ペリー(Chesley Perry)氏のスピーチの一つの中に、ポール・ハリスの大変本質に迫るインスピレーションの紹介がありましたので、ご参考までにご覧ください。

源流の会アーカイブより “PAUL HARRIS” by CHES. PERRY

1954年5月24日～6月1日
ニューヨーク州 レイクプラシッド・クラブ
ロータリー国際協議会にて

ジョアクイン会長が私に依頼したことは、1905年にシカゴロータリークラブを組織化し、ロータリー運動を立ち上げたポール・ハリスの考えについて話して欲しいとのことでした。

今日、ここに集う私たちは最初のロータリークラブという組織化の話以前にポールと仲間同士であります。彼の自叙伝的な見方、1905年以降彼がどのような人物であるかを知る前に、1905年以前の彼の考え方はどのようなものであったかを知ることにより、結論が見出しやすくなりますので、暫くの時間を頂き、私の見方を述べていきたいと思っております。

ほぼ間違いなく言えることは、ポールはロータリーそして他の類するクラブについて特別なインスピレーションは持ち合わせていなかったし、まして彼自身ロータリークラブのアイデアを商業化しようとか、金銭的な見返りを求めようとかは、全く考えていませんでした。

ポールが7年前に彼の心の中に2つの考えがあることを示唆してくれました。1つは、1905年シカゴの中に将来森となるようにと驚きと楽しみで一本の苗木を植樹しました。

もう一つは、彼の人生前半30年余の間では、取り立てるような目標もなく旅行をしたことが、先程の苗木の話にも結び付いているのです。明らかにその旅行は一少年として、一若者として、一人の男としての思考を高めたのです。間違いなく彼は普通に物事に対して「なぜ?」という好奇心溢れる少年でした。その一因は彼の父親が彼を遠隔地であるウイスコンシンのラシーンに住んでいた祖父母に引き合わせたことも影響しています。



源流の会アーカイブより

“ PAUL HARRIS ” by CHES. PERRY

1954年5月24日～6月1日
 ニューヨーク州 レイクブラシッド・クラブ
 ロータリー国際協議会にて

人の考え方はその人の生まれ育った環境や、他人との交流によって多分に影響を受けるものです。

バーモント州ウーリングフォードでの生活では、家族愛、村民との連帯責任の中で暮らした。そこで、身に着けたのが、徳目、質素儉約、寛容の心、機会平等、教育の大切さ、それは政府施策への意見具申の力、そして他者への心遣いの重要性を彼らの仲間と共に学んだのです。

少年が成長するに従って考え方は彼の祖父母と隣人に感化されて行ったが、その一人にアイランド人の哲学者風の庭師や、また、彼の叔父でジョージ・フォックスは村医者で金銭を稼ぐより、人々に尽くすことを好む人だったし、ジャッジ・ボタン老人からは、収穫した小麦わらから更に残った小麦を取り出す方法等など正しいことを知ったのです。

彼は村にある建物、店舗やそこにいる人を興味深く常に「なぜ?」という思いで散策していました。彼は鳥や動物をも観察しましたが、一番関心度が高かったのは人間そのものでした。彼は徐々に成長するにつれて、その対象は広がり、木、小川、丘、山等見えるものは全てに関心を寄せるようになりました。

彼は教会の集会にも参加し、不思議と感じたのは、他の特定宗派との違いでした。彼はこの教会にいる人は良い人、他の教会にいる人は悪い人と何で単純に割り切れるのか、ということでした。

間違いなく言えることは、彼は人間でも物事でも熱中させる、させないことに鋭い観察力を持っていたと言えます。だからこそ、60年—70年後に彼が亡くなるちょっと前に書いた MY ROAD TO ROTARY(私のロータリーへの道)の中で彼の数々の詳細な経験について、何回も何回も熟読に値するのです。

ニューイングランドでの生活について単なる本として偶然か好んでかは問わず、読後は一人の少年が長い人生の時間軸で大きな足跡を残す運命にあったと学ぶことが出来ます。

彼のリーダーシップのレベルアップに役立ったのは、子供の時の仲間たちとの色々な冒険を計画、実行したことで、中には生涯の学歴にも差し障わる悪ふざけもありました。

この若者の考え方には彼が読んだ本からの影響もあったことでしょうか、ローウェル、ウィティア、トーロウ、ウィットマン、ディケンズ、タッカー、スコットはあまり好まず、大した影響は受けなかった。だからと言って彼は決して新聞、雑誌連載漫画のマニアではなかったのです。

学校は公立、大学、バーモント大学、プリンストン大学で学んだ中で更に彼は人間関係に関する好奇心が旺盛になったのです。



源流の会アーカイブより

“ PAUL HARRIS ” by CHES. PERRY

1954年5月24日～6月1日
 ニューヨーク州 レイクブラシッド・クラブ
 ロータリー国際協議会にて

彼の成熟した時からの規範は、彼の祖父が亡くなった後の祖母からの助言に負う所が大きく、それは若いうちにいつ、早く西部へ旅立ちの準備をするかでした。実際の助言は「あなたは多くの他人様にお世話になるのよ、ポール!今からはあなた自身で決めるのよ。一生懸命働いて、誇らしく生きてね!」、と。

ポールはアイオワ大学で法律を勉強するために行く途中、二、三日間シカゴに滞在して、そこで彼が目にしたのは、平和的に隣人たちと仲良く暮らす牧歌的なニューイングランドとは全く正反対の光景でした。しかしながら、一方ではエネルギー溢れたざわめきが聞こえ、人間性の大渦巻の中には最先端の文化も犯罪も入り乱れていることに、彼は魅入られ二、三年後には戻ってくる事となったのです。

彼は法律を勉強することによりあらゆる面で合理的な考え方を身に付けて、人間の行動の方法論に携わるようになり、それは、人生に及ぼす重要な動機とは何か? 人間は何故、身体的、精神的、モラル的に無駄な点がどうしてあるのだろうか? 何故、良かったり、悪かったりするのだろうか? 何故、時には犠牲になったり、価値あるものになるのであろうか? 彼の祖母の箴言は本当に価値のあるものなのだろうか?それとも、それは善意ではあるが、惑わせ、古びたぼやけたものなのだろうか?

彼は他国のことを読めば読むほど、多くの人類の末端には人生の生き方や考え方に何故、大きな差異があるのだろうか?に不思議さを持ったのでした。

この若き自然愛好者、若き哲学者は決して世捨て人ではありませんでした。彼はバーモント山脈を探索しましたし、より高い山にも登ることも希望していました。彼は法律実務に就く前に、多くの経験を望んでいたのです。

彼は法律学の卒業前に一つのユニークなことを企画していました。それは、金銭的な限りのある中でしたが5年間の旅行でして、それは過去にもそうしたようにアメリカ合衆国以外にもでき得る限り多くの国々に行き行って親しくなることでした。

彼の第一段階ともいべきリサイタル旅行はロッキー山脈を越えて太平洋北西部に行き、カルフォルニアへ下って、コロラドのデンバーへ行く旅でした。

彼自身が言っている5年間の「放浪生活」によって最初の段階では単に普通の人たち例えば、新聞記者、牧場作業員、カウボーイ、果物パッカー、芝居役者などであったが、何人かは生涯にわたる友人にも巡り合えたのです。

デンバーからフロリダのジャクソンビルに飛び、そこでジョージ W. クラークという大理石と御影石を事業とする人と知り合い、友人になりました。しばらくクラーク氏のところで働き、ポールはクリーブランド大統領の就任式のためにワシントンへ立ち、そこである新聞社の仕事をしました。



源流の会アーカイブより

“ PAUL HARRIS ” by CHES. PERRY

1954年5月24日～6月1日
 ニューヨーク州 レイクブラシッド・クラブ
 ロータリー国際協議会にて

次のヒッチ旅行は別の大理石・御影石会社の旅で、ケンタッキー、テネシー、ジョージア、バージニアでした。

次なる大変厳しい経験はロンドンとリバプールへ行く家畜運搬船の甲板員として英国とウェールズへの貴重な旅でした。

1893年シカゴにおいてのコロンブス博覧会を見るために二回目の旅から戻ってきて、そこで世界中からの多くの美しいグランド、施設、催事に大変感動したのです。

更に、ルイジアナへの旅では、ニューオリンズの歴史とロマンに触れました。

再び、ジャクソンビルに戻り、クラーク氏と一緒に南部の州そしてキューバ、バハマと旅をしたのです。

そしてクラーク会社の正式な代表者としてヨーロッパ中、フランス、オーストリア、イタリア、ドイツ、オランダ、ベルギー、英国、スコットランドへ旅したのです。

この旅全てを通じて、一人の好奇心旺盛な20歳代の若者が得たものは、人の行動の学習つまり、如何に利他の脈拍が多くの人々の心を打つのかを発見したことであった。

彼はジャクソンビルに単にサヨナラを言うために戻ってきた。つまり、5年間の破天荒な放浪生活に一区切りをつけようとしたのは、魅惑のシカゴで腰を据えて法律実務に努めよとの天の声があったのかも知れない。

クラークは彼にジャクソンビルに留まり一緒に働けばより沢山のお金が稼げるよと、言われたが彼は「確かにそうかもしれないが、私はシカゴへ単に行くのではなく、人生を築くのです。」と返答したのです。(参考までに付け加えれば、クラークは12年後にジャクソンビル・ロータリークラブを創立しました。)

シカゴへ行って何年もの間、それは困難を極め、戦時もあり、落ち込む時もあり、弁護士も多く(殆ど倫理観なし)荒々しい過当競争に見舞われる日々が続いていた。

多分、金儲け弁護士が主流であって、金以外で影響力を行使する弁護士は殆どなく、その点で気の置けない真の友達を持つことは至難の業であったのです。家族もいなく、孤独な週末暮らしは当然、祖父母たちとのウォーリングフォードでの温かい家庭生活また、ジャクソンビルでのクラークたちとの時を希求していました。

ビジネスや専門職の世界的親睦のビジョンがまだ確立されていなかったが、彼は何か彼の置かれている現況に対して行動するべく袖口を引っ張られる感じをもっていました。まず感じていたのは、大都会の中で友達を作る方法があつてしかるべきと思っていました。シカゴには大勢のビジネスマンが地方から来ていて、友情に飢えていることに気がついていました。



源流の会アーカイブより

“ PAUL HARRIS ” by CHES. PERRY

1954年5月24日～6月1日
 ニューヨーク州 レイクブラシッド・クラブ
 ロータリー国際協議会にて

郊外のロージャーズ公園でのある夕刻、地方でいくつもの事業を見た時と同じような、関与先と親しくなりました。その地方はニューイングランドでポールが見たのと極めて似ているのが分かりました。つまり、それぞれ異なる職種を持ちながら、ビジネスや専門職の系統を持ちながらも、一人一人の人間としてグループ、サークル、クラブを波乱なく組織化できるのか？ また、何故、お互いに真の友達として関心を寄せあい、助け合うことが出来ないのでしょうか？

このような思いを彼は長年持ち続け、アイデア化を遂に決断し、シルベスター・シールや、ハリー・ラグラス達の助けを借りて彼のクラブをスタートさせたのです。

クラブの魅力度を上げるために先ず、最初の目的にしたのは、会員事業の利益そして二番目の目的は親睦としました。事業利益の促進について強調されたのは、何を得られるのかだけでなく、他人に対しても何が出来るのか例えば、鼻眞にするとか、友達を紹介してやり、助言したりすることなどでもっと事業に役立つなど。ポールは確かに気を強くはしましたが、それは親睦の目的だけが強調されただけでした。

彼は如何に職種の異なった人々を自由闊達な会合にしたかといえ、それは長年の旅行とニューイングランドでの経験に基づいて、彼らは何をするのか？ 何故そうするのか？を身に付けていたのです。

ロータリーの親睦はやがてロータリーの友情へと成熟する時だと彼が気がついたのはウォーリングフォードでの茶目っ気のある少年の心情を表現すると同じだったのです。ロータリアン達との仲間内でも再び、茶目っ気ぶり、冗談を飛ばしたりする仕掛け人になったのです。

しかしながら、日増しにクラブが発展する可能性に対しての考え方について彼は、聴く耳を持ち、他の人のアイデアや意思を具体化するために努めたのです。例えば、個人個人が自己中心でない方法で他人に対して手助けしようとしてみた時とか、グループとして、彼らが住んでいるか、住もうとしているかの町で他人に対して自己中心的な人様のためを思わない団体の場合では、彼はすぐに核心を探り、市民の発展の為に参画するか、クラブの地域奉仕目的にするかの対応をしたのです。

さて、ここまで、シカゴに苗木として植樹した最初のロータリークラブの創立について述べてきました。そして、そのようなクラブ作りのコンセプトは彼の旅行経験が土台にあったことを振り返ってきましたが、もう一つの苗木は(RI)国際ロータリーです。多分、ポールのロータリーの旅路の最終地は、最初のロータリークラブ作りはロータリー運動の更なる発展のための単なる、下準備であったとも言えましょう。

ポールがロータリークラブ同士を組織化して世界的な運動へと進展させた理由は何か？といえ、それはまたの折に、1908年以降の話になります。つまり、第二番目のロータリークラブの誕生と1912年にポールがRIの会長を退いたことに関連します。

有り難うございました!!

(文責 曾我 隆一)



地区会員数 月別推移

国際ロータリー第2840地区 地区会員数

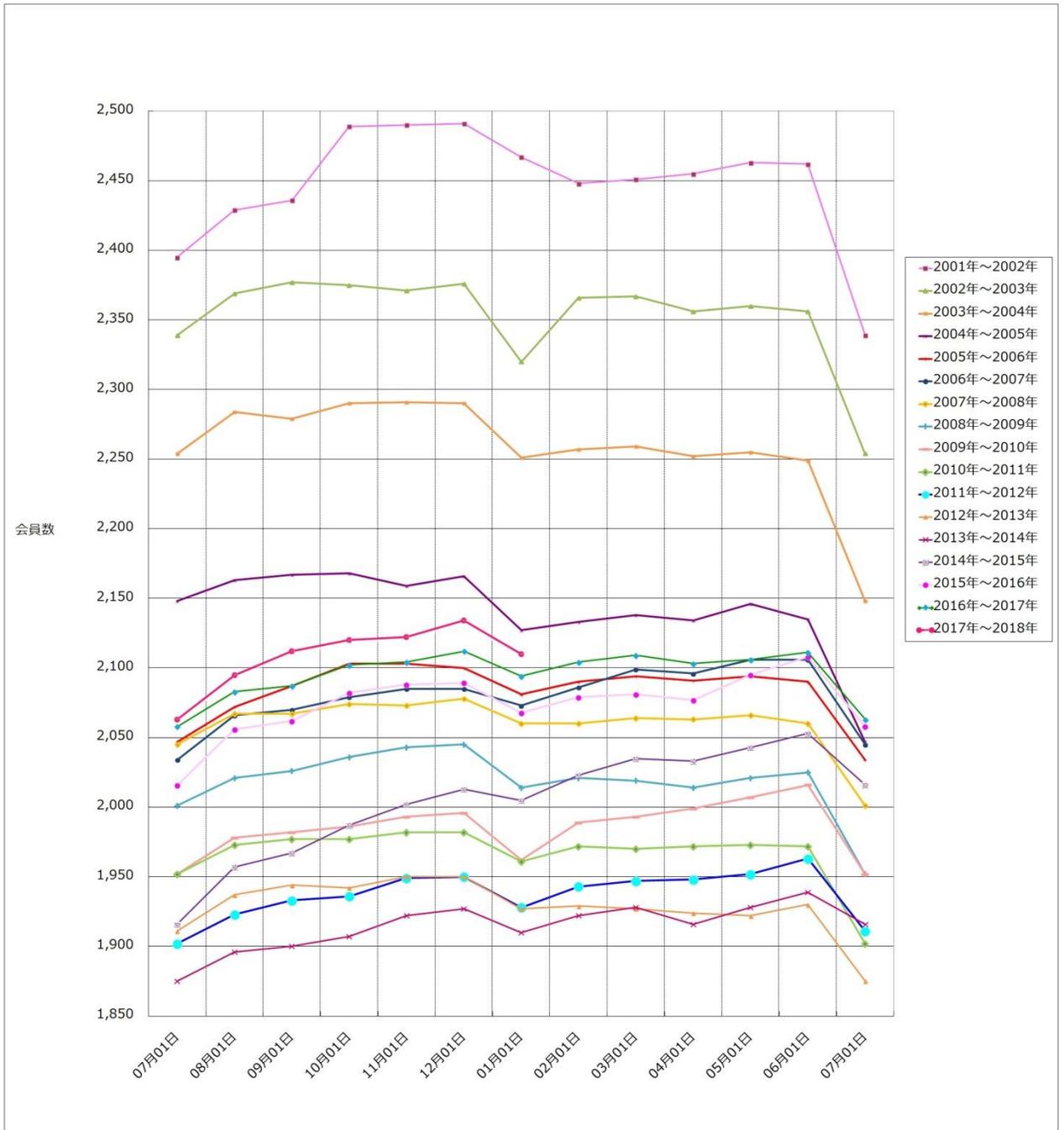
2018年1月24日現在

	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	11月1日	12月1日	1月1日	2月1日	3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日
2001年～2002年	2,395	2,429	2,436	2,489	2,490	2,491	2,467	2,448	2,451	2,455	2,463	2,462	2,339
2002年～2003年	2,339	2,369	2,377	2,375	2,371	2,376	2,320	2,366	2,367	2,356	2,360	2,356	2,254
2003年～2004年	2,254	2,284	2,279	2,290	2,291	2,290	2,251	2,257	2,259	2,252	2,255	2,249	2,148
2004年～2005年	2,148	2,163	2,167	2,168	2,159	2,166	2,127	2,133	2,138	2,134	2,146	2,135	2,047
2005年～2006年	2,047	2,072	2,087	2,103	2,103	2,100	2,081	2,090	2,094	2,091	2,094	2,090	2,034
2006年～2007年	2,034	2,066	2,070	2,079	2,085	2,085	2,073	2,086	2,099	2,096	2,106	2,106	2,045
2007年～2008年	2,045	2,067	2,067	2,074	2,073	2,078	2,060	2,060	2,064	2,063	2,066	2,060	2,001
2008年～2009年	2,001	2,021	2,026	2,036	2,043	2,045	2,014	2,021	2,019	2,014	2,021	2,025	1,952
2009年～2010年	1,952	1,978	1,982	1,986	1,993	1,996	1,962	1,989	1,993	1,999	2,007	2,016	1,952
2010年～2011年	1,952	1,973	1,977	1,977	1,982	1,982	1,961	1,972	1,970	1,972	1,973	1,972	1,902
2011年～2012年	1,902	1,923	1,933	1,936	1,949	1,950	1,928	1,943	1,947	1,948	1,952	1,963	1,911
2012年～2013年	1,911	1,937	1,944	1,942	1,950	1,950	1,927	1,929	1,927	1,924	1,922	1,930	1,875
2013年～2014年	1,875	1,896	1,900	1,907	1,922	1,927	1,910	1,922	1,928	1,916	1,928	1,939	1,916
2014年～2015年	1,916	1,957	1,967	1,987	2,002	2,013	2,005	2,023	2,035	2,033	2,043	2,053	2,016
2015年～2016年	2,016	2,056	2,062	2,082	2,088	2,089	2,068	2,079	2,081	2,077	2,095	2,108	2,058
2016年～2017年	2,058	2,083	2,087	2,102	2,104	2,112	2,094	2,104	2,109	2,103	2,106	2,111	2,063
2017年～2018年	2,063	2,095	2,112	2,120	2,122	2,134	2,110						



地区会員数 月別推移

国際ロータリー第2840地区 地区会員数月別推移





2017-2018年度上半期分區別会員数報告

国際ロータリー第2840地区 2017-18年度上期 分區別会員数の推移

		7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	11月1日	12月1日	1月1日
第1分 区	会員数	364	367	369	374	375	375	371
	内女性会員数	30	29	29	30	31	33	31
第2分 区A	会員数	209	212	215	215	216	216	216
	内女性会員数	23	24	25	25	26	26	27
第2分 区B	会員数	256	258	259	260	262	265	265
	内女性会員数	11	11	11	11	11	12	12
第3分 区	会員数	367	374	381	382	382	385	379
	内女性会員数	20	21	23	24	24	24	24
第4分 区A	会員数	208	211	212	214	212	214	214
	内女性会員数	11	12	12	13	13	13	13
第4分 区B	会員数	151	156	156	156	156	156	156
	内女性会員数	9	9	9	9	9	9	9
第5分 区	会員数	255	260	261	261	261	262	251
	内女性会員数	14	16	16	16	16	16	13
第6分 区	会員数	253	257	259	258	258	261	258
	内女性会員数	13	13	13	13	13	14	14
計	全分区	2063	2095	2112	2120	2122	2134	2110
	内女性会員数	131	135	138	141	143	147	143



2017-2018年度下期会員増強・維持に関するアンケート集計結果

2017-18年度 【会員増強・維持に関するアンケート】集計結果

クラブ名	7月1日		1月1日		6月末日予測		退会者数		
	会員数	(女性)	会員数	(女性)	会員数	(女性)	本年度	前年度	
第1分 区	前 橋	118	10	117	10	125	11	9	8
	前橋西	58	5	60	6	63	7	2	6
	前橋東	51	5	51	5	58	6	1	12
	前橋北	70	3	73	2	75	3	1	7
	前橋南	40	1	44	2	47	3	0	0
	前橋中央	27	6	26	6	29	7	2	3
小 計	364	30	371	31	397	37	15	36	
第2分 区A	桐 生	63	6	65	6	70	7	0	8
	桐生南	24	1	23	1	24	1	2	2
	桐生西	59	5	63	8	65	8	1	5
	桐生中央	21	3	21	3	21	3	0	1
	桐生赤城	42	8	44	9	46	10	0	3
小 計	209	23	216	27	226	29	3	19	
第2分 区B	伊勢崎	88	3	88	3	93	4	1	3
	群馬境	22	1	25	1	27	1	1	2
	伊勢崎中央	84	5	87	6	92	7	0	3
	伊勢崎南	30	1	33	1	37	1	0	1
	伊勢崎東	32	1	32	1	(32)	(1)	1	1
小 計	256	11	265	12	(281)	(14)	3	10	
第3分 区	高 崎	118	9	125	11	130	12	7	9
	高崎南	68	6	72	7	(72)	(7)	0	1
	高崎北	66	0	64	0	72	2	5	5
	高崎東	40	1	41	2	48	3	0	0
	高崎ソニー	41	4	43	4	45	4	0	1
	高崎外弘	34	0	34	0	38	1	1	3
小 計	367	20	379	24	(405)	(29)	13	19	



2017-2018年度下期会員増強・維持に関するアンケート集計結果

2017-18年度 【会員増強・維持に関するアンケート】集計結果

クラブ名	7月1日		1月1日		6月末日予測		退会者数		
	会員数	(女性)	会員数	(女性)	会員数	(女性)	本年度	前年度	
第4分 区A	太 田	71	3	73	3	78	3	0	0
	太 田 西	18	2	18	2	20	4	0	0
	太 田 南	46	3	45	3	50	3	3	3
	新 田	18	1	24	2	27	2	1	0
	太田中央	55	3	54	3	60	3	1	3
小 計	208	12	214	13	235	15	5	6	
第4分 区B	館 林	49	2	52	2	54	3	0	1
	大 泉	33	3	34	3	36	3	0	1
	館 林 西	21	1	23	1	25	1	0	1
	館 林 東	23	3	21	3	21	3	2	1
	館林ミアム	25	0	26	0	28	1	0	1
小 計	151	9	156	9	164	11	2	5	
第5分 区	渋 川	62	5	61	5	65	6	1	4
	沼 田	67	1	70	2	73	2	0	4
	草 津	17	1	17	1	17	1	0	2
	中 之 条	21	1	21	0	22	2	2	3
	沼田中央	51	4	44	3	45	3	8	11
	渋川みどり	37	2	38	2	40	1	0	2
小 計	255	14	251	13	262	15	11	26	
第6分 区	富 岡	44	4	45	4	47	4	1	6
	藤 岡	51	3	53	3	58	3	1	3
	安 中	51	3	51	3	(51)	(3)	0	2
	藤 岡 北	17	1	16	1	17	1	1	0
	富岡中央	37	1	39	1	41	1	1	3
	碓氷安中	10	0	11	1	12	1	0	1
	藤 岡 南	16	1	16	1	17	1	0	2
	富岡かぶら	27	0	27	0	29	1	2	0
小 計	253	13	258	14	(272)	(15)	6	17	
総 計	2063	132	2110	143	(2242)	(165)	58	138	

()は 当該クラブの未報告部分のため1月1日の数を入れさせて頂きました



ぐんま経済新聞

RID2840クラブ紹介について

1. 木曜日発行の弊紙にて、国際ロータリー第2840地区46クラブのクラブ紹介を毎週1クラブずつ行う
2. 記載項目は、
 - ・ クラブ紹介（クラブの特徴やトピックス）
 - ・ 会長挨拶
 - ・ クラブ概要（会長・幹事名、事務局所在地、例会情報など）
 上記項目を合計600字程度で記述
3. 会長顔写真を掲載
4. フォーマット案は以下の通り



国際ロータリー第2840地区〈群馬〉

○○○ロータリークラブ

■ 会長挨拶

.....

■ クラブ紹介

■ クラブ紹介



○○会長



ぐんま経済新聞

記事掲載企画

記事内容：クラブの紹介

原稿（会長の写真を添えて）の提出先：ぐんま経済新聞社 編集部 後藤 多麻実 様

goto@gunkei.com まで

	RC	新聞掲載日 (木曜日)	原稿締切日 (厳守)
第3分区	高崎	2018.1/11	12/11
	高崎南	1/18	
	高崎北	1/25	
	高崎東	2/1	
	高崎シンフォニー	2/8	
	高崎セントラル	2/15	
第2分区B	伊勢崎	2/22	2018.1/15
	群馬境	3/1	
	伊勢崎中央	3/8	
	伊勢崎南	3/15	
	伊勢崎東	3/22	
第2分区A	桐生	3/29	2/22
	桐生南	4/5	
	桐生西	4/12	
	桐生中央	4/19	
	桐生赤城	4/26	
第1分区	前橋	5/10	3/26
	前橋西	5/17	
	前橋東	5/24	
	前橋北	5/31	
	前橋南	6/7	5/7
	前橋中央	6/14	



年間行事予定表

開催日		項目	場所	
2018年	2月	3日(土)	ローターアクト年次大会	伊勢崎プリオパレス
		10日(土)	第4回ガバナー諮問委員会・GE(宮内)報告	前橋問屋センター会館
		10日(土)	地区チーム研修セミナー	前橋問屋センター会館
		18日(日)	新会員セミナー	ホテルメトロポリタン 高崎
		24日(土)	米山記念奨学生修了式・歓送会	ホテルメトロポリタン 高崎
	3月	10日(土)	第4分区A・第4分区B合同IM	
		17日(土)	会長エレクト・次年度幹事研修セミナー	伊香保温泉福一
		18日(日)	会長エレクト・次年度幹事研修セミナー	伊香保温泉福一
		24日(土)	第2回地区補助金予備審査会	
		25日(日)	第2分区B IM	伊勢崎プリオパレス
	4月	8日(日)	第5分区 IM	ホテルベラヴィータ
		14日(土)	第1分区・第3分区 合同IM	ラシーネ新前橋
		15日(日)	第2分区A IM	桐生プリオパレス
		21日(土)	地区補助金最終審査会	
		22日(日)	新規米山記念奨学生カレッジセミナー・オリエンテーション	前橋問屋センター会館
		22日(日)	新規米山記念奨学生オリエンテーション	前橋問屋センター会館
		22日(日)	継続米山記念奨学生資格審査面談	前橋問屋センター会館
		28日(土)	第6分区 IM	ホテルアミューズ富岡



年間行事予定表

開催日			項目	場所
2018年	5月	13日(日)	地区研修・協議会	東洋大学板倉キャンパス
	6月	9日(土)	米山学友総会	ホテルメトロポリタン 高崎
		9日(土)	米山記念奨学生指定校選定会議	
		16日(土)	第5回ガバナー諮問委員会	
		16日(土)	現・新地区役員合同連絡会議	
		17日(日)	青少年交換受入学生歓送会・ 夏季交換学生歓迎会	前橋問屋センター会館
		24~27日	国際大会	カナダ・トロント



周年行事予定クラブ

開催日		項目	場所	
2018年	3月	3日(土)	碓氷安中ロータリークラブ 20周年記念式典	並木苑
		11日(日)	桐生ロータリークラブ 65周年記念式典	桐生プリオパレス
	4月	7日(土)	太田南ロータリークラブ 40周年記念式典	太田ナウリゾート ホテル
		24日(火)	中之条ロータリークラブ 50周年記念式典	花の駅 美野原
		21日(土)	館林ロータリークラブ 60周年記念式典	レストラン ジョイハウス
	5月	12日(土)	富岡かぶらロータリークラブ 15周年記念式典	ホテルアミューズ富岡
		19日(土)	高崎北ロータリークラブ 50周年記念式典	ホテルメトロポリタン 高崎
		26日(土)	新田ロータリークラブ 35周年記念式典	ティアラグリーン パレス



新会員紹介



氏名 杉崎 陽祐
 クラブ 伊勢崎東
 入会日 2017年11月06日
 職業分類 保険業
 勤務先 有限会社 サカイ
 役職 取締役
 推薦者 赤堀 賢二



氏名 小島 啓
 クラブ 太田
 入会日 2017年12月14日
 職業分類 保険業
 勤務先 明治安田生命
 保険相互会社
 役職 太田営業支社長
 推薦者 横幕 和幸



氏名 和佐田 高久
 クラブ 太田
 入会日 2017年12月14日
 職業分類 銀行
 勤務先 株式会社東和銀行
 太田支店
 役職 支店長
 推薦者 松本 博



氏名 中澤 功史
 クラブ 渋川みどり
 入会日 2017年11月01日
 職業分類 行政書士
 勤務先 日新堂(株)行政書士
 中澤法務事務所
 役職 代表取締役・代表
 推薦者 金子 渡
 羽鳥 智充



訃報

謹んでお悔やみ申し上げます



氏名 村山 幸雄
 クラブ 高崎ロータリークラブ
 入会日 1979年04月02日
 退会日 2017年12月24日
 享年 99歳
 勤務先 村山歯科医院 顧問

2017年11月 ロングエージ特別表彰
 (地区大会当日、地区内最高齢)
 メジャードナー レベル1
 マルチプルポールハリスフェロー 8
 第14回米山功労者メジャードナー

先生は大正7年東京で生まれ、戦争を経験、戦後に高崎で村山歯科医院を開設されました。例会を楽しみに毎回出席し、クリスマス例会では、先生からこれまでのお礼と100歳まで頑張るとのお言葉を頂きますと、会員皆の万歳三唱が沸き起こりました。それが最後のお別れとなりました。あまりに突然のご逝去にまだ信じられません。豊かな見識、謙虚で優しさ溢れる振る舞いは会員の目標であり、精神的支柱でした。先生の教えと生き様は会員に長く受け継がれていくものです。ご冥福を心よりお祈りいたします。

高崎ロータリークラブ会長 関口 俊介



文庫通信 (365号) <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

資料より

「純粋親睦」 佐古 亮尊 大村北R.C (回首原点-ロータリーの心を尋ねて(その7))	2011	2p
「ロータリーは思想である」 佐古 亮尊 大村北R.C (回首原点-ロータリーの心を尋ねて(その8))	2016	6p
「なぜ私たちは他人に親切にするのであろうか」 富田 英壽 (ロータリーの心をたずねて)	2017	2p
「基本に戻って、魅力あるロータリーに」 富田 英壽 (ロータリーの心をたずねて)	2017	5p
「ロータリーはどこへ? -ロータリーの目的と自分の人生の目的のベクトルを合わせる生き方」 刀根 莊兵衛 (夢を語り、現在(いま)を刷新)	2017	3p
「ロータリーとは?」 鈴木 一作 (D.2800月信)	2018	4p
「ロータリーと持続可能性」 吉田 雅俊 (D.2580月信)	2017	1p
「柔軟性導入は会員増のソリューションなのか?」 小船井 修一 (D.2840月信)	2018	9p
「五つのテスト?」 玉井 清治 (D.2510月信)	2017	1p

〔上記申込先：ロータリー文庫〕

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階
TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前 10 時~午後 5 時 休館=土・日・祝祭日



出席報告

クラブ数	会員数					
	年度初	月初	月末	純増減会員数	女性会員	当月出席率
46	2063	2134	2110	-24	143	82.57

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第1分区	前橋	3	74.51	118	119	117	-2	10
	前橋西	4	76.84	58	60	60	0	6
	前橋東	4	84.30	51	52	51	-1	5
	前橋北	4	90.10	70	74	73	-1	2
	前橋南	3	95.46	40	43	44	1	2
	前橋中央	3	81.94	27	27	26	-1	6
	合計		83.86	364	375	371	-4	31
第2分区A	桐生	3	78.81	63	65	65	0	6
	桐生南	4	88.54	24	24	23	-1	1
	桐生西	4	92.38	59	62	63	1	8
	桐生中央	3	71.90	21	21	21	0	3
	桐生赤城	3	85.11	42	44	44	0	9
	合計		83.35	209	216	216	0	27
第2分区B	伊勢崎	3	93.49	88	88	88	0	3
	群馬境	3	73.33	22	24	25	1	1
	伊勢崎中央	3	86.11	84	87	87	0	6
	伊勢崎南	4	75.76	30	33	33	0	1
	伊勢崎東	3	89.90	32	33	32	-1	1
	合計		83.72	256	265	265	0	12
第3分区	高崎	3	87.18	118	128	125	-3	11
	高崎南	3	76.38	68	72	72	0	7
	高崎北	3	74.86	66	67	64	-3	0
	高崎東	3	75.64	40	41	41	0	2
	高崎シンフォニー	3	74.42	41	43	43	0	4
	高崎セントラル	4	92.37	34	34	34	0	0
	合計		80.14	367	385	379	-6	24

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第4分区A	太田	4	91.43	71	71	73	2	3
	太田西	3	92.75	18	18	18	0	2
	太田南	3	91.94	46	46	45	-1	3
	新田	3	91.67	18	24	24	0	2
	太田中央	3	83.03	55	55	54	-1	3
	合計		90.16	208	214	214	0	13
第4分区B	館林	4	87.50	49	52	52	0	2
	大泉	3	76.61	33	34	34	0	3
	館林西	4	79.54	21	23	23	0	1
	館林東	3	100.00	23	21	21	0	3
	館林ミレニアム	3	92.00	25	26	26	0	0
合計		87.13	151	156	156	0	9	
第5分区	渋川	3	82.53	62	62	61	-1	5
	沼田	3	68.40	67	70	70	0	2
	草津	2	61.76	17	17	17	0	1
	中之条	4	74.60	21	23	21	-2	0
	沼田中央	3	81.80	51	52	44	-8	3
	渋川みどり	3	78.76	37	38	38	0	2
合計		89.57	255	262	251	-11	13	
第6分区	富岡	3	99.07	44	45	45	0	4
	藤岡	5	81.51	51	54	53	-1	3
	安中	3	65.36	51	51	51	0	3
	藤岡北	3	78.68	17	16	16	0	1
	富岡中央	3	81.70	37	39	39	0	1
	碓氷安中	3	75.00	10	12	11	-1	1
	藤岡南	3	79.49	16	16	16	0	1
	富岡かぶら	3	83.95	27	28	27	-1	0
合計		80.59	253	261	258	-3	14	

2017年12月末現在



コラム

田中ガバナーの蘊蓄 その8

今回も、この「ガバナー月信」紙上に余白部分ができたので、それを借りて「ロータリー」の周辺にある言葉を蘊蓄披露します。関心のある方はお付き合いください。

第8話：ロータリー平和センター

2月の特別月間テーマ（平和と紛争予防／紛争解決月間）に照らし、以下の話題を提供します。

皆様は「ロータリー平和センター」というプログラムをご存じでしょうか？同センターは、ロータリー財団（TRF）が設置しているプログラムで、世界理解と平和という財団の使命を達成するために最優先とされているプログラムです。

具体的には、世界6カ国にある7つの名門大学において世界平和と紛争予防の担い手となる人材を育て、平和推進者の世界的ネットワークを築こうとするものです。日本でも、東京都三鷹市にある国際基督教大学（ICU）がその一つに選定されています。

毎年、世界中から選ばれる定員100人のフェローがロータリー平和センター提携大学で学び、国際関係、平和研究、紛争解決や関連分野での修士号を取得し（50名）、または専門能力開発修了証取得のために（3ヶ月コース・50名）研究をしています。

TRFは、このフェロー達にフェローシップ期間中の奨学金（旅費、学費、食費等）を支給しています。その資金の源泉は、地区からのDDF（地区活動資金）からの寄贈、冠名指定寄付、恒久基金、WF（国際財団活動資金）からの資金、すべてはわれわれロータリアンからの寄付によって支えられています。

フェローの候補者は、平和と国際理解への明らかな熱意を有することはもちろんですが、英語に堪能であること（修士号取得コースは第二言語能力も必要）、3年以上（修了証取得コースでは5年以上）の関連分野における職歴またはボランティア経験があることが必要で、かつ修士号取得コースでは学士号取得者、修了証取得コースでは優秀な学業成績が求められています。いずれにしても、候補者にはそれなりの社会経験やボランティア経験が必要で、本気で世界平和推進を希求する人材に限られることになるでしょう。

残念なのは、その候補者からは、ロータリアン、クラブ・地区・その他のロータリー団体の職員、それらの配偶者、直系卑属（子、孫など）などは除かれるとしています。TRFは、ロータリー関係者には優秀な人材はいないと決めつけているのでしょうか。または、フェローの選考にロータリー関係者のお手盛りが介在することを恐れているのでしょうか。

再考を求めたい事項です。

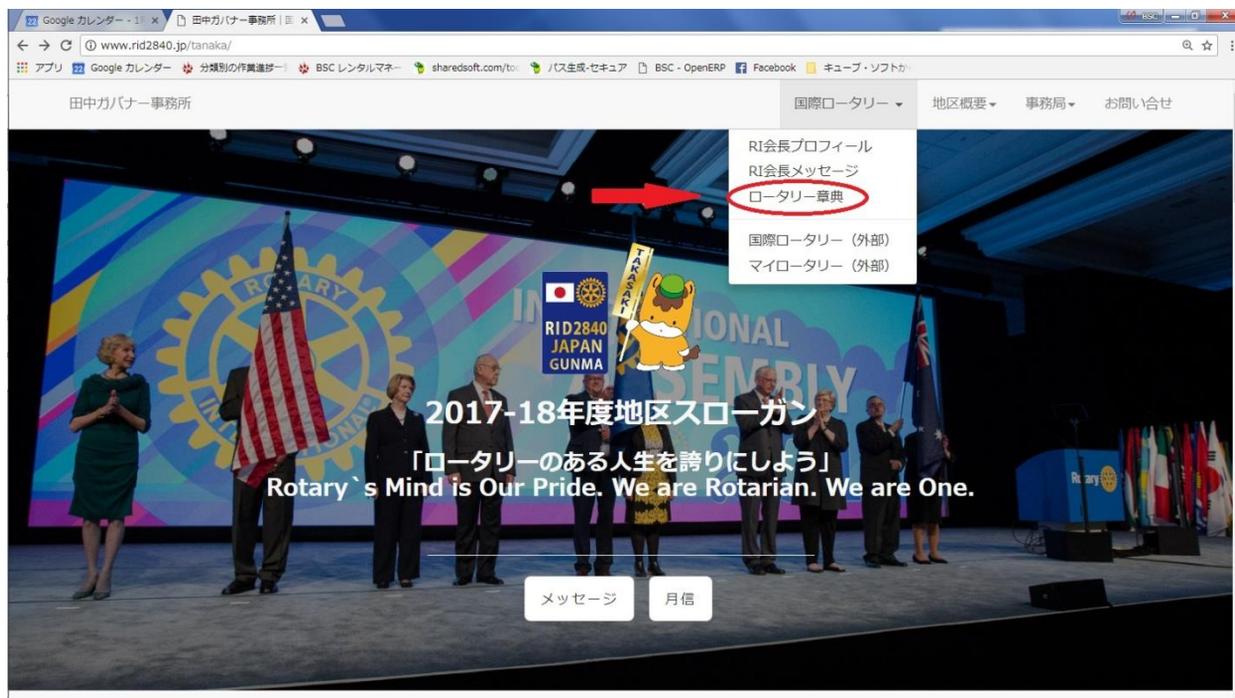


ガバナー事務所よりお願い

お知らせ

最新の「ロータリー章典」を ホームページに掲載いたしました。

田中ガバナー事務所のホームページのメニューよりご覧ください。





ガバナー事務所よりお願い

ガバナー月信に関して

- 原稿の締め切りは、毎月 15 日です。ワードまたはエクセル書式で作成の上、メール添付しガバナー事務所 tanaka@rid2840.jp まで送信してください。なお、写真等の画像がある場合は、デジタルデータでお送りください。
- 新会員情報並びに訃報の締め切りは、毎月 15 日です。（15日以降のご連絡分につきましては、次月号の掲載となります。）新会員につきましては氏名、入会日、職業分類、勤務先、役職、推薦者氏名を記入の上、写真を添えて、ガバナー事務所ホームページの専用欄かメールにてお送りください。なお、訃報につきましてはクラブ会長様に 250 字以内で追悼文を作成いただき、ご連絡をお願いいたします。
- この月信のPDFデータを印刷して、クラブの第一例会で会員の皆様に回覧いただきたく存じます。よろしくお願いいたします。

表紙写真解説 みさと梅まつり

関東平野を一望する丘陵に、約10万本の梅が植樹されており、あたり一面が純白の花とほのかに甘い香りに包まれ、特別なひと時を満喫できます。

期 間 : 3月上旬から3月下旬
 アクセス : 関越自動車道前橋ICから車で約30分
 問い合わせ先 : 箕郷支所産業課
 電話 027-371-9065